

令和4年度 リリーベール小学校

第三者評価 まとめ

本年度は、運動会・コーラスフェスティバル・避難訓練・遠足・校外学習・観劇会等ほとんどの行事を新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら実施することが出来ました。昨年度のクリスマスアッセンブリーでは、コロナ禍により録画やオンラインで実施していましたが、本年度は例年通りビクトリアホールで開催しました。保護者からはとても好評で、生で見るクリスマスアッセンブリーのよさを再認識していただきました。その後の餅つき、エキシビション等も通常通り開催し、多くの保護者に見ていただくことが出来ました。卒業式は、一児童家族4名までの参加に制限しましたが、多くの保護者が参加しました。完全にコロナ前と同様とは行きませんでした。児童も保護者も楽しめた1年であったと考えます。

一方、学習面では国語・算数・理科・社会・英語に関し、前年度に3～6年でテスト運用した自立学習応援プログラム「すらら」を、本年度は4～6年生で本格運用を開始しました。運用成績は、小学校としてはかなり良く、「すらら」本社からも、どの科目もまんべんなく期待以上の利用率と成果だと評価されています。また、「すららカップ」(大会期間中のすららへの利用率と成績を組合わせて、順位を決定する大会)では、6年生が全国1位を獲得しました。今後も「すらら」をより積極的に活用し、職員の研鑽及び新たな使い方を模索し続けることが必要です。

また、児童・保護者・教職員アンケートも同じ内容で続けてきましたが、時代の変化に呼応すべく、次年度は質問内容も含め検討してまいります。

1. 児童の状況【児童アンケートから】

「児童アンケート」では、コロナが落ち着き、ほぼ通常通りの学校生活になったからか「すすんで挨拶」は4ポイント上昇し92.1%と90%台に回復しました。5年間連続80%台で推移しているのが「身の回りの片付け」81.4%、「学校に来るのが楽しい」85.3%、「担任の先生に褒められた」83.5%の3項目です。

「担任の先生は叱ってくれた」は95.0%となり5年間で最高値となりました。コロナ禍から通常の学校生活に戻ったのが影響しているかも知れません。

行事の満足度については、「宿泊学習」などの校外学習の満足度が昨年を上回り更に過去最高の70.9%でした。もともと期待値が高い行事が、コロナ禍で制限されていたものが実施された反動かも知れません。2番目に満足度が高いのが運動系です。一方、「エキシビション」は過去最低の3.1%となり3ポイント減少しました。

2. 保護者の状況【保護者アンケートから】

「保護者アンケート」では、「意欲をもった学び」は95.6%と前回に比べ6.7%上昇、「連絡や相談がしやすい」は92.3%と4.9%上昇、「担任の児童への対応」は92.8%と前回に比べ4.7%上昇しました。いずれも前は80%台だったものが90%台に引き上がりました。また、「学校環境」「学校は楽しい」「安全に過ごす生活習慣」も前回より上昇しました。これは、コロナが終焉に向かい、日常が戻り学校に対する保護者の関心が高まった結果と思われます。一方、「落ち着いた学級経営」

と「一人ひとりに応じた生活指導」は前回とほぼ同じで80%台にとどまっています。

令和元年度から「学校で伸ばしてほしい取り組みは」との項目に変更しましたが、宿泊を伴う行事が40.0%と6.9%減少し、国語・その他の授業が37.2%と14.8%に増加しました。そのうち国語、算数以外の「その他の授業」が全体の18.9%を占めていますので、その意図するものが当該年度に運用開始した4～6年生の「すらら」なのか、5～6年生の「創造論理の授業」なのか、「アート」の授業なのかは不明です。次年度のアンケートではその深堀が必要かも知れません。

3. 教員の状況【教員アンケートから】

「教員アンケート」では、教員全員がしていると回答した項目は、6項目で「学習の見通しを持たせた授業展開」「校内研修を授業に生かす」「保護者と連携を図っている」「幼少・小中の連携」「体力の向上」「授業における課題の明確化」でした。6項目も実施していると回答があった結果は過去になく、教員のベクトルが学校の目指す方向と一致してきた結果と考えます。素晴らしいことです。一方、「授業の相互参観による指導力の向上」「道徳性の育成」「読書活動の推進」は「わからない」と回答した教員それぞれ1名いました。

4. 「学校評価ガイドライン」(28年改訂)を考慮した課題への対応

- ① 「教育課程・学習指導」の領域⇒体験的な学習や問題解決的な学習、児童生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習の状況
 - ⇒ 1～3年生は、「基礎学力と体験活動で豊かな感性を育む」ことを目標とし、遠足やキャンプの実施、「アート」を専科とした授業を実施している。
 - ⇒ 4～6年生は、「感性を通して表現力と論理的思考力を育む」ことを目標とし、民泊やスキー学習の実施、「創造論理」授業を実施している。
- ② 「生徒指導」の領域⇒自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるような指導の状況
 - ⇒ リーダー教育として実施している。ハウスリーダー・児童会・クラスリーダー・クラブキャプテン・各委員会・バスリーダーの6つの活動で指導している。
- ③ 「安全管理」の領域⇒安全点検(通学路の安全点検を含む)や、教職員・児童生徒の安全対応能力の向上を図るための取組の状況
 - ⇒ スクールバス通学により、登下校の事故や犯罪を未然防止している。また、ICカードによる登下校管理を実施し保護者にメールで通知している。避難訓練は毎年実施。
- ④ 「教育目標・学校評価」の領域⇒自己評価の結果の設置者への報告の状況
 - ⇒ 児童、保護者、担任教師のアンケートを実施し、年度初めの理事会及びホームページ上で報告している。
- ⑤ 「研修(資質向上の取組)」⇒校内研修・校外研修の実施・参加状況
 - ⇒ 今年度は、これまで通り「国語」の研修を年間テーマとして実施。予定していた「算数」の研修については来年度に「基礎基本の知識を定着させ、『わかる』『考える』楽しさを味わう算数」を研究テーマに師範授業・模擬授業・講義を実施予定である。

① 児童アンケート

	項目	令和4年度
1	すすんで挨拶ができていますか	92.1%
2	自分のものの片付けができていますか	81.4%
3	友達と仲良くしていますか	93.2%
4	食事をした後に歯磨きをしていますか	92.1%
5	学校に来るのが楽しいですか	85.3%
6	交通安全や避難訓練に真剣に取り組みましたか	91.9%
7	宿題を忘れずにやっていますか	93.5%
8	担任の先生は褒めてくれましたか	83.5%
9	担任の先生は叱ってくれましたか	95.0%
10	どの行事を一番楽しみにしていましたか	
	宿泊学習・キャンプ・スキー・修学旅行	70.9%
	運動会・マラソン・ドッジボール大会	13.1%
	クリスマス	11.5%
	エキシビジョン	3.1%
	コーラスフェス	1.3%

調査は5つの回答のうち「よく出来ている」「出来ている」の合計割合です

② 保護者アンケート

	項目	令和4年度
1	担任の児童への対応に満足している	92.8%
2	学校環境は美しく整備されている	96.1%
3	子どもは学校が楽しいと言っている	93.9%
4	担任は落ち着いて学習できる学級経営をしている	86.3%
5	学校は児童一人ひとりに応じた生活指導に努めている	82.4%
6	学校は安全に過ごす生活習慣を身につけさせようとしている	95.0%
7	子ども達は意欲をもって学んでいる	95.6%
8	学校は保護者にとって連絡や相談 がしやすく、それらに適切に対応している	92.3%
9	学校で伸ばしてほしい取り組みは	
	英語	22.8%
	宿泊を伴う行事	40.0%
	国語・その他の授業	37.2%
10	子どもが学校で仲間外れにされたり無視されたり 陰で悪口を言われたりした時学校は適切に対応している	67.0%

調査は5つの回答のうち「よく出来ている」「出来ている」
の合計割合です

③ 教職員アンケート

	項目	令和4年度
	アンケート母数	15人
1	毎時間学習の見通しを持たせ授業を展開している 大いにしている・している わからない	15 0
2	校内研修の取組みを自分の授業に生かしている 大いにしている・している わからない	15 0
3	授業の相互参観に意識的に取組み指導力の向上に努めている 大いにしている・している していない・わからない	14 1
4	学年だより、連絡帳等を活用し保護者と連携を図っている 大いにしている・している わからない	15 0
5	学年に応じ幼小、小中の連携を意識している 大いにしている・している していない わからない	15 0 0
6	子どもの道徳性の育成を図っている 大いにしている・している わからない	14 1
7	子どもの体力の向上に努めている 大いにしている・している わからない	15 0
8	授業において課題の明確化を図っている 大いにしている・している していない	15 0
9	読書活動の推進を図っている 大いにしている・している していない	14 1
10	教師に相談しやすい環境づくりをしている 大いにしている・している わからない	10 5